

2007年3月期決算説明会



曙ブレーキ工業株式会社

代表取締役社長 信元 久隆
2007年5月18日

2006年度業績

■ 最終利益最高益を4期連続で更新

	実績	対前年同期差	対前年同期比
売上高	1,732億円	+309億円	+21.7%
営業利益	139億円	+21億円	+18.3%
経常利益	122億円	+11億円	+10.3%
当期純利益	66億円	+8億円	+13.2%

2007年度の経営課題（日本）

大きな伸びの期待できない国内市場

将来に備えた国内収益構造の変革

- ・ 自動化推進
- ・ 基幹部品インソース
- ・ 固定費削減



鋳物新工場外観イメージ

市場の二極化

低コスト技術
高性能ブレーキ技術



ニウルブルクリンク24時間
耐久レースに使用された
高性能ブレーキ

2007年度の経営課題（北米）

最適生産配置の見極めと実現

再編効果の着実な刈り取り

- ・ 本社機能スリム化・生産最適化・調達機能集約



北米新本社社屋
(KY州)

攻略が遅れている北米補修事業拡大

少量多品種への対応・原価低減・品揃え
伊藤忠商事との協業

市場の見極め

日系の躍進・韓国メーカー対応
ターゲット車種の見極めとグローバルでの供給対応

2007年度の経営課題（欧州・アジア）

欧州事業の黒字化定着

市場でのプレゼンス確立



Akebono Brake Europe N.V.(ベルギー)

アジア戦略の実行

タイの着実な立ち上げ⇒アジア統括拠点化
既に決まっているビジネスに加えた拡販を計画

中国事業の育成

摩擦材：明るい兆し
機構製品：現地調達への推進と見極めによるコスト低減

2007年度計画

■ 最高益更新に挑戦

	計画	対前年同期差	対前年同期比
売上高	1,770億円	+38億円	+2.2%
営業利益	155億円	+16億円	+11.7%
経常利益	131億円	+9億円	+7.8%
当期純利益	73億円	+7億円	+10.1%

Global 30-2007 地域別売上高・営業利益計画

■ 連結2009年度目標 売上:2000億円、営業利益:200億円

		FY2006 実績	FY2007 計画		FY2009 計画
売上高	日本	953	974	→	1,035
	北米	670	656		745
	欧州	24	34		45
	中国	4	13		35
	東南アジア	81	93		140
	合計	1,732	1,770		2,000
営業利益	日本	90	96	→	115
	北米	48	51		60
	欧州	▲2	2		4
	中国	▲4	▲2		6
	東南アジア	7	8		15
	合計	139	155		200

Global 30-2007の主な変化点

受注見込みのアップデート

インドネシアの連結増加による見直し
→日本からインドネシアでの売上計上に修正

タイ子会社設立

当初想定台数の見直し

前提となる条件の変化

市況：FY2006の状況を反映

・銅、鋳物 etc.

税制改正による償却費増加の反映

Global 30-2007の主な変化点

投資計画の見直し 他

投資計画の見直し

- ・タイ子会社設立
- ・鋳物工場設立
- ・Global Headquarter建設
- ・IT投資のずれ込み
- ・センサー工場拡張 etc.

高性能ブレーキ開発への資源投入

投資スタンス

- FY2007～FY2009：約500億円の投資

	FY2007計画	FY2008～2009計画
投資額	200億円	300億円
営業CF	150億円	350億円

- 3年間Totalでのフリーキャッシュ・フローは”0”レベル
- 有利子負債はFY2009年度にはFY2006レベルに

Global 30-2007

- 高品質グローバルNo.1低コストティア2を目指して
- 中期計画を抜本的に見直しする。
→次期中期計画FY2008～FY2010へ

(単位:億円)	FY2004	FY2005	FY2006	FY2007	FY2009
売上高	1,320	1,423	1,732	1,770	2,000
営業利益	98	117	139	155	200
当期純利益	52	59	66	73	100
総資産	1,222	1,501	1,556		1,750
自己資本比率	22%	27%	30%		39%
ROA	4%	4%	4%		6%
ROE	21%	17%	15%		15%
D/Eレシオ※1,2	1.6倍	1.1倍	0.9倍		0.6倍

※1：FY2005から北米でのリースオンバランス影響を加味。

※2：少数株主持分を含まない自己資本に対する倍率

役員体制の変更（2007年6月21日付け予定）

■ コーポレートガバナンス強化

取締役：8名体制

（内、社外取締役1名）

新任：5名

（内、社外取締役1名）

取締役：10名体制

（内、社外取締役2名）

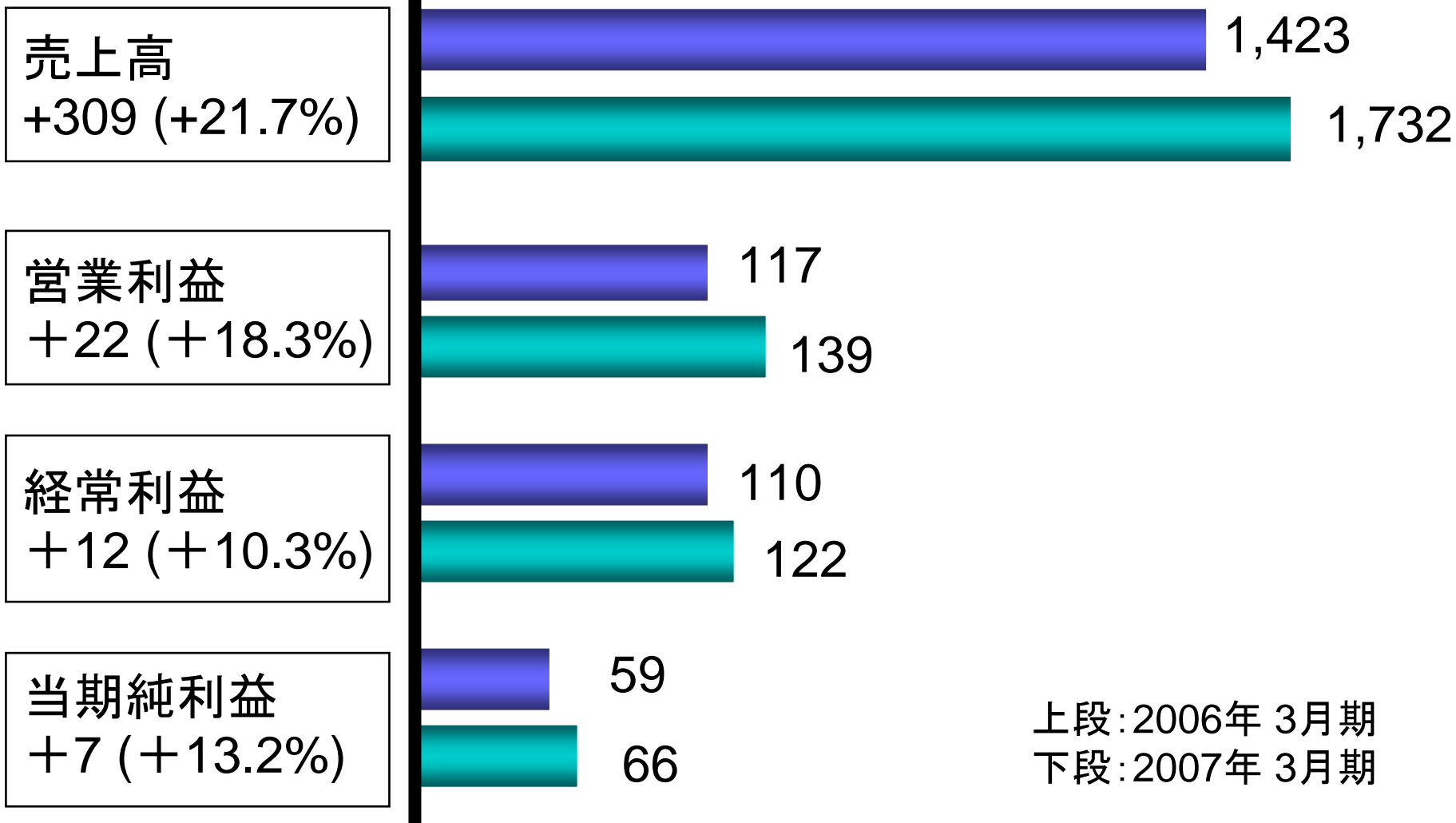
2007年3月期
業績説明

取締役副社長・CFO
荻野好正

2007年3月期 業績概況

対前年差

単位:億円



上段:2006年 3月期
下段:2007年 3月期

2007年3月期 所在地別概況

対前年差

単位:億円

	売上高			営業利益		
	06年3月期	07年3月期	増減	06年3月期	07年3月期	増減
日本	1,011	953	▲ 58	102	90	▲ 12
北米	395	670	275	19	48	29
欧州	14	24	10	▲ 3	▲ 2	1
東南アジア	3	81	78	0	7	7
中国	0	4	4	▲ 1	▲ 4	▲ 3
連結	1,423	1,732	309	117	139	22

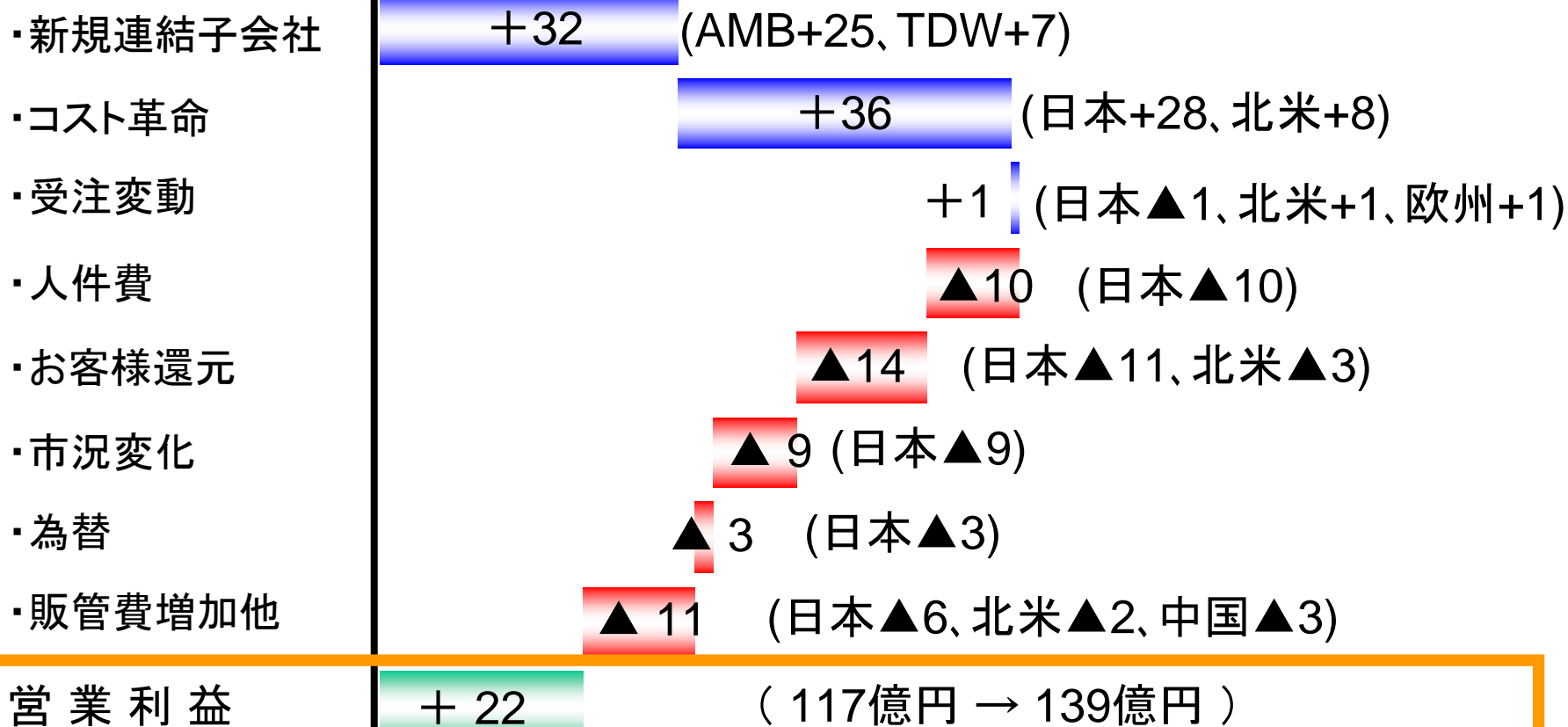
為替レート	06/3	07/3	
US\$	110.95	116.40	※1-12月レート
EURO	138.13	150.95	

2007年3月期 営業利益の要因別増減

◆ 営業利益は139億円と、対前年差+22億円

対前年差

単位：億円



2007年3月期 営業利益から当期純利益まで

前 期

営業利益 117

主な勘定

営業外収支 ▲7

受取配当 +2
持分法による投資利益 +8
支払利息 ▲9

経常利益 110

特別損益 ▲37

投資有価証券売却益 +3
資産売却却損 ▲6
減損損失 ▲19

税前利益 73

法人税等 ▲11
少数株主利益 ▲3

当期純利益 59

単位: 億円

当 期

営業利益 139

主な勘定

営業外収支 ▲17

受取利息・配当 +3
支払利息 ▲13

経常利益 122

特別損益 ▲4

投資有価証券売却益 +7
固定資産売却却損 ▲4
減損損失 ▲2

税前利益 118

法人税等 ▲45
少数株主利益 ▲7

当期純利益 66

2007年3月期 キャッシュ・フロー

◆ 2007年3月末現金及び現金同等物残高は35億円で対前期末と比較し△16億円

単位：億円

税前利益	118
減価償却費	93
法人税等の支払	▲62
売上債権の増加	▲37
その他	▲4

+108

▲89

長期借入増加	49
短期借入金減少	▲41
ファイナンス・リース債務 の返済による支出	▲27
配当金支払	▲10
社債償還	▲4

▲33

有形固定資産	▲71
無形固定資産	▲18

35

2006/4/1

営業CF

投資CF

財務CF

2007/3/31

51

指標の変化（2005/3月期～）

単位：億円

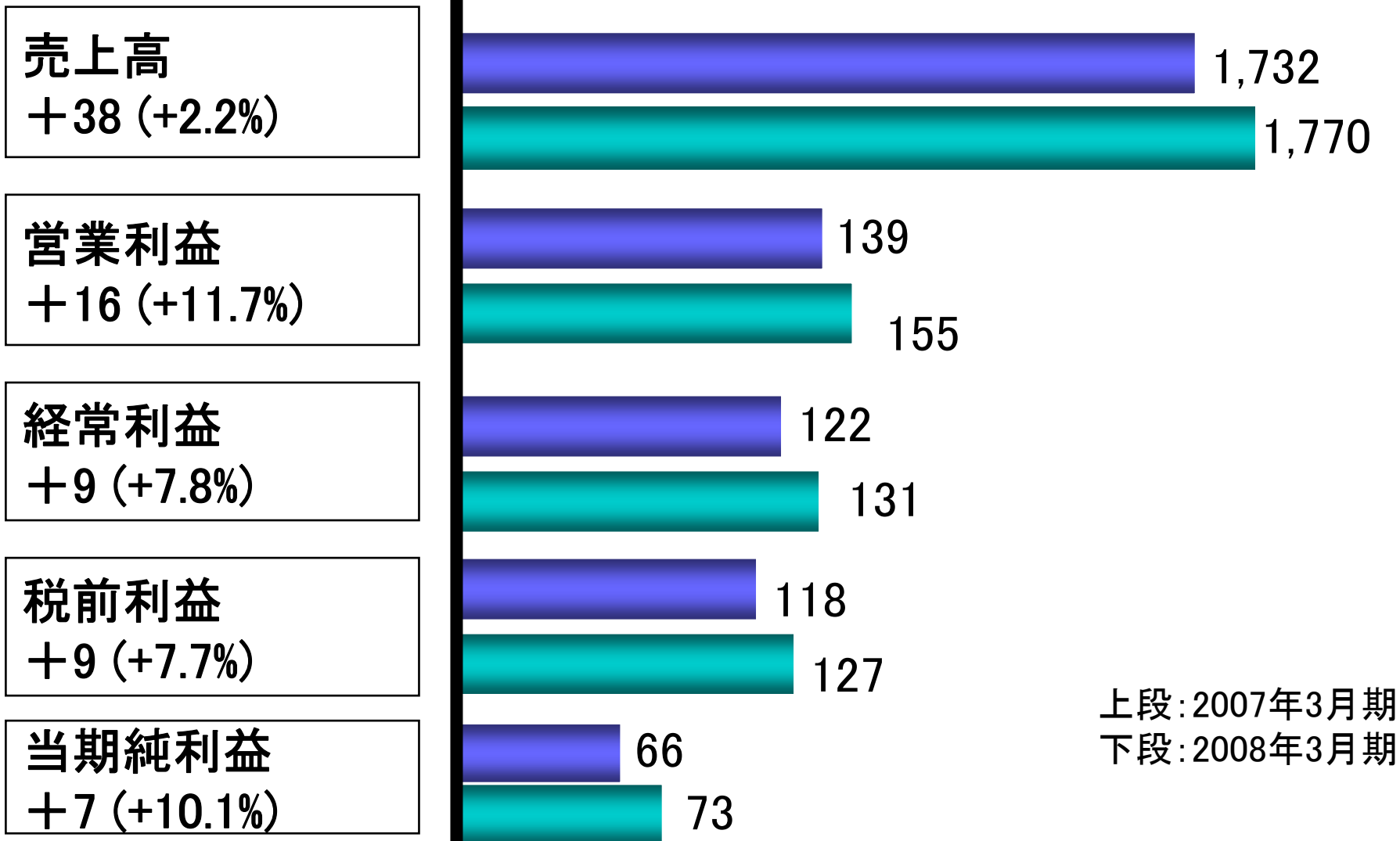
	<u>FY2004</u>	<u>FY2005</u>	<u>FY2006</u>
総資産	1,222	1,501	1,556
有利子負債	430	454	438
自己資本	272	410	473
自己資本%	22.3	27.3	30.4
D/Eレシオ(倍)	1.58	1.11	0.93
ROA%	4.2	4.3	4.3
ROE%	21.7	17.2	15.0

2008年3月期
計画説明(連結)

2008年3月期 通期計画(対前年比較)

単位: 億円

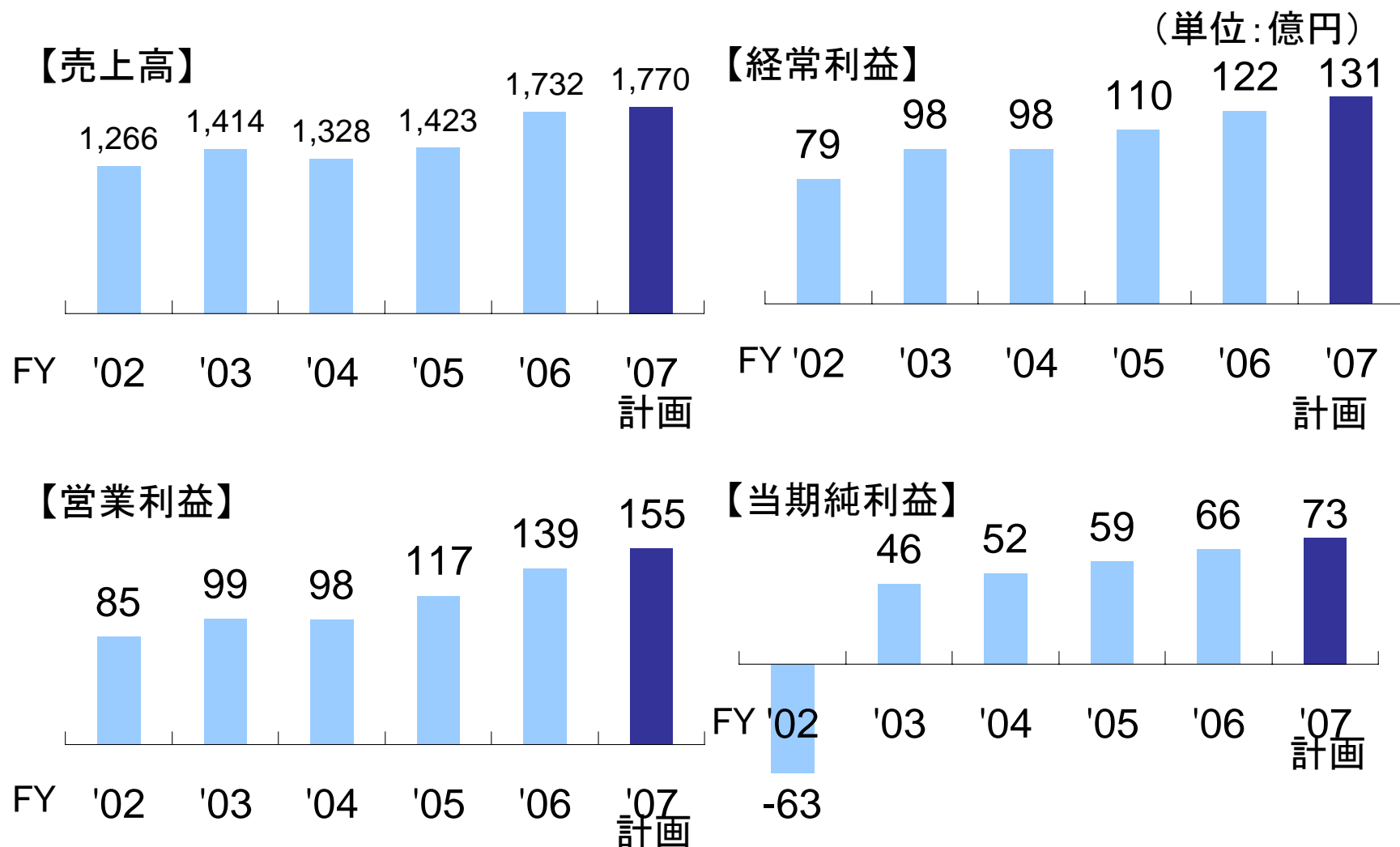
対前年差



上段: 2007年3月期
下段: 2008年3月期

2008年3月期 通期計画

■売上高：3期連続増収計画、当期純利益：5期連続増益計画



2008年3月期 所在地別概況

対前年差

単位:億円

	売上高			営業利益		
	07年3月期	08年3月期	増減	07年3月期	08年3月期	増減
日本	953	974	21	90	96	6
北米	670	656	▲ 14	48	51	3
欧州	24	34	10	▲ 2	2	4
東南アジア	81	93	12	7	8	1
中国	4	13	9	▲ 4	▲ 2	2
連結	1,732	1,770	38	139	155	16

外貨ベース (Mil. US\$)

北米	575	597	22	41	46	5
----	-----	-----	----	----	----	---

為替レート

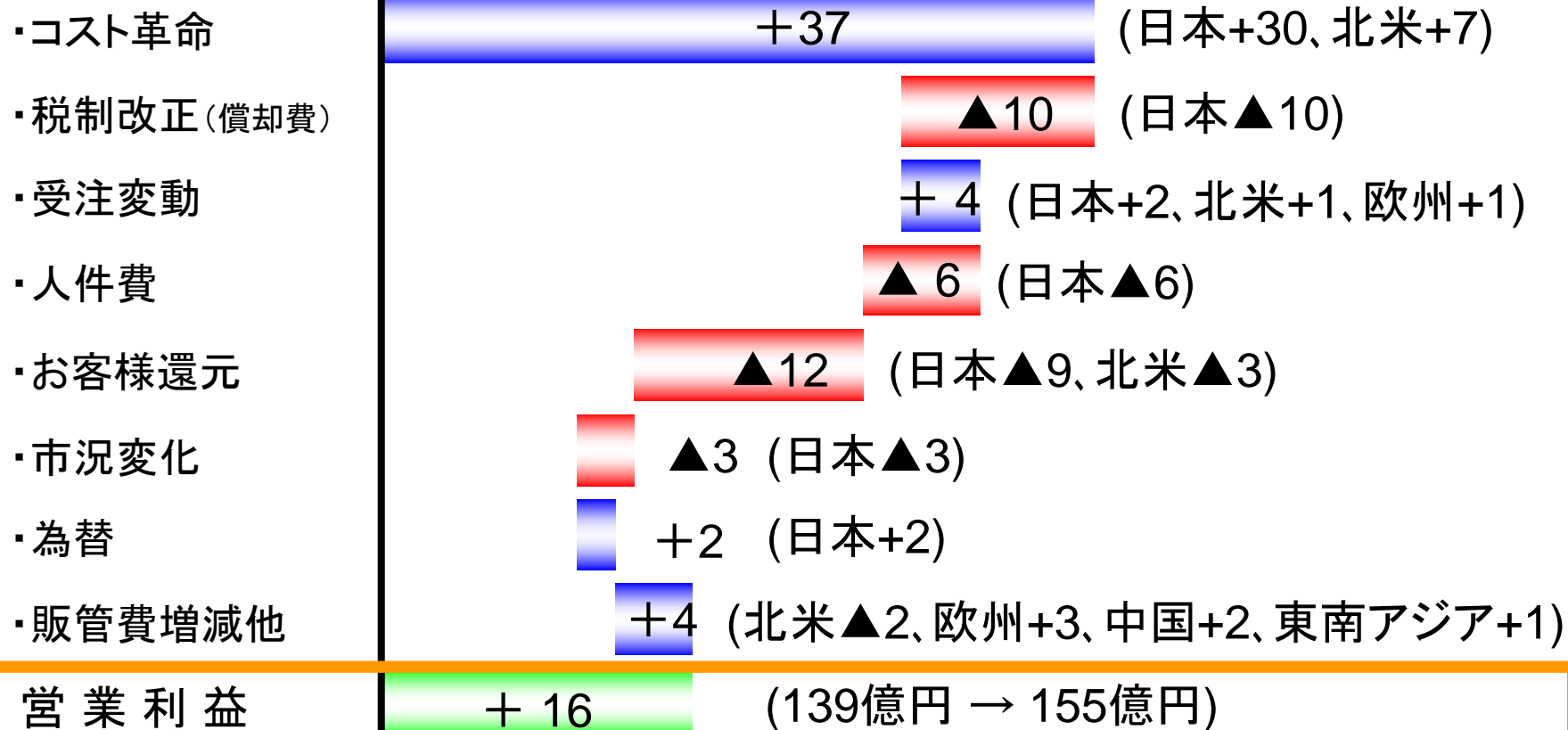
	07/3	08/3
US\$	116.40	110.00 ※1-12月レート
EURO	150.95	150.00

2008年3月期 営業利益の要因別増減

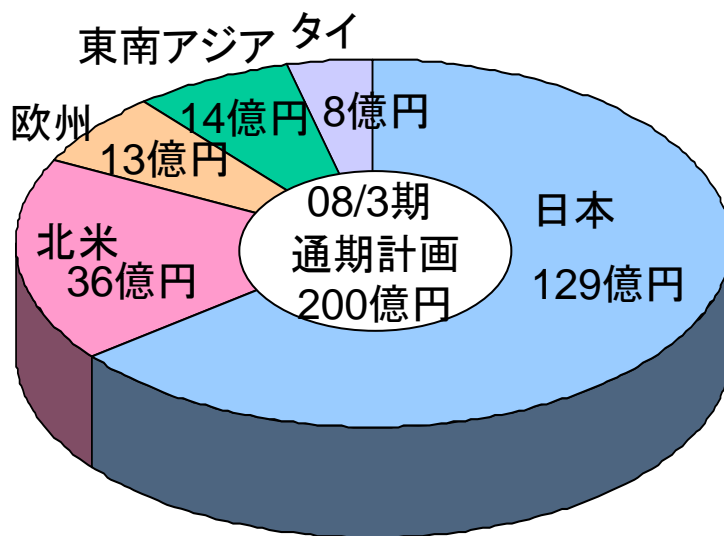
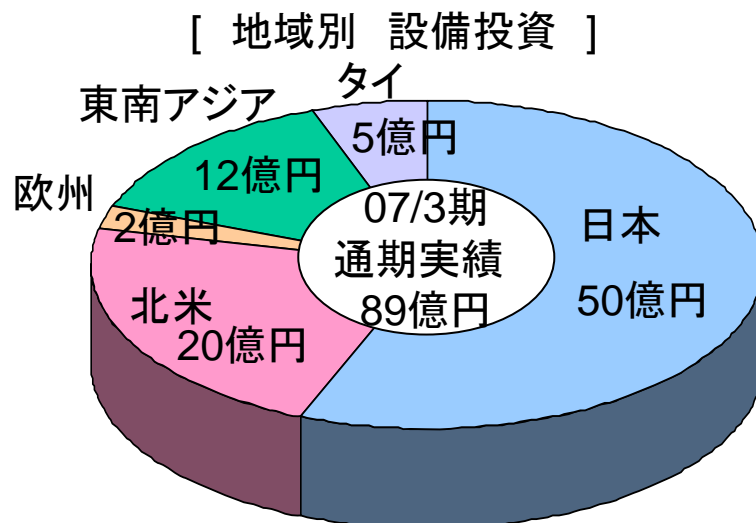
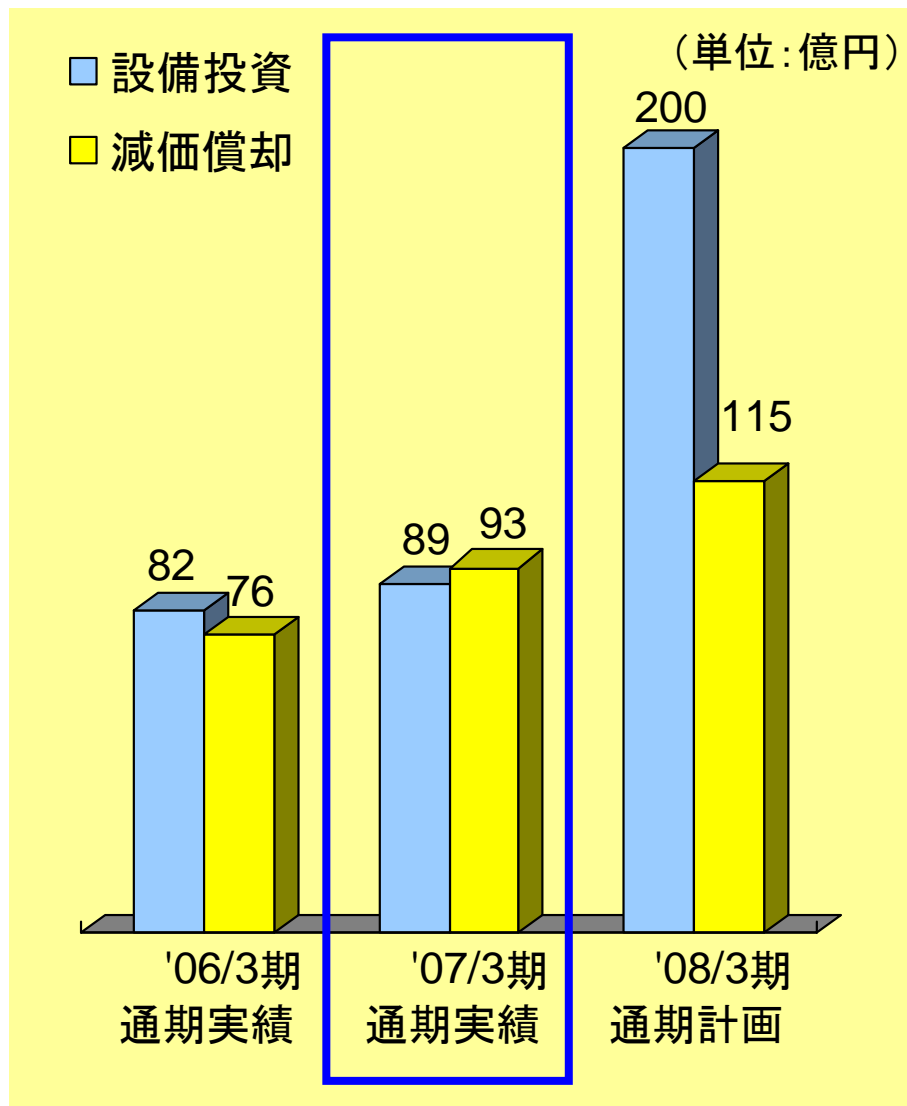
◆営業利益は155億円と、対前年差+16億円

対前年差

単位：億円

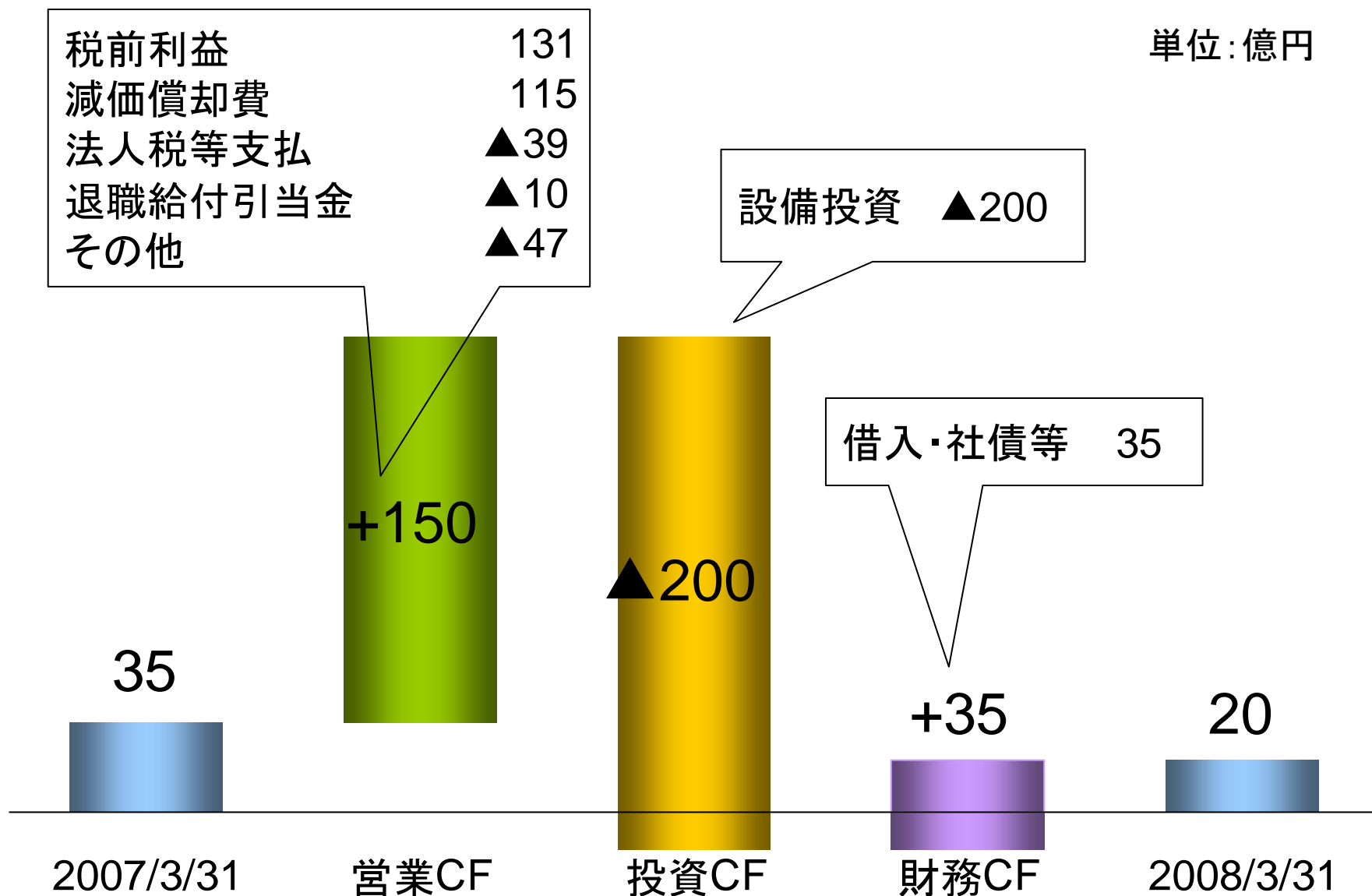


2007年3月期及び2008年3月期 設備投資及び償却費



国内投資(主な増加要因)
 鋳物40、センサー10、IT10、その他(新工法・内部統制等)18

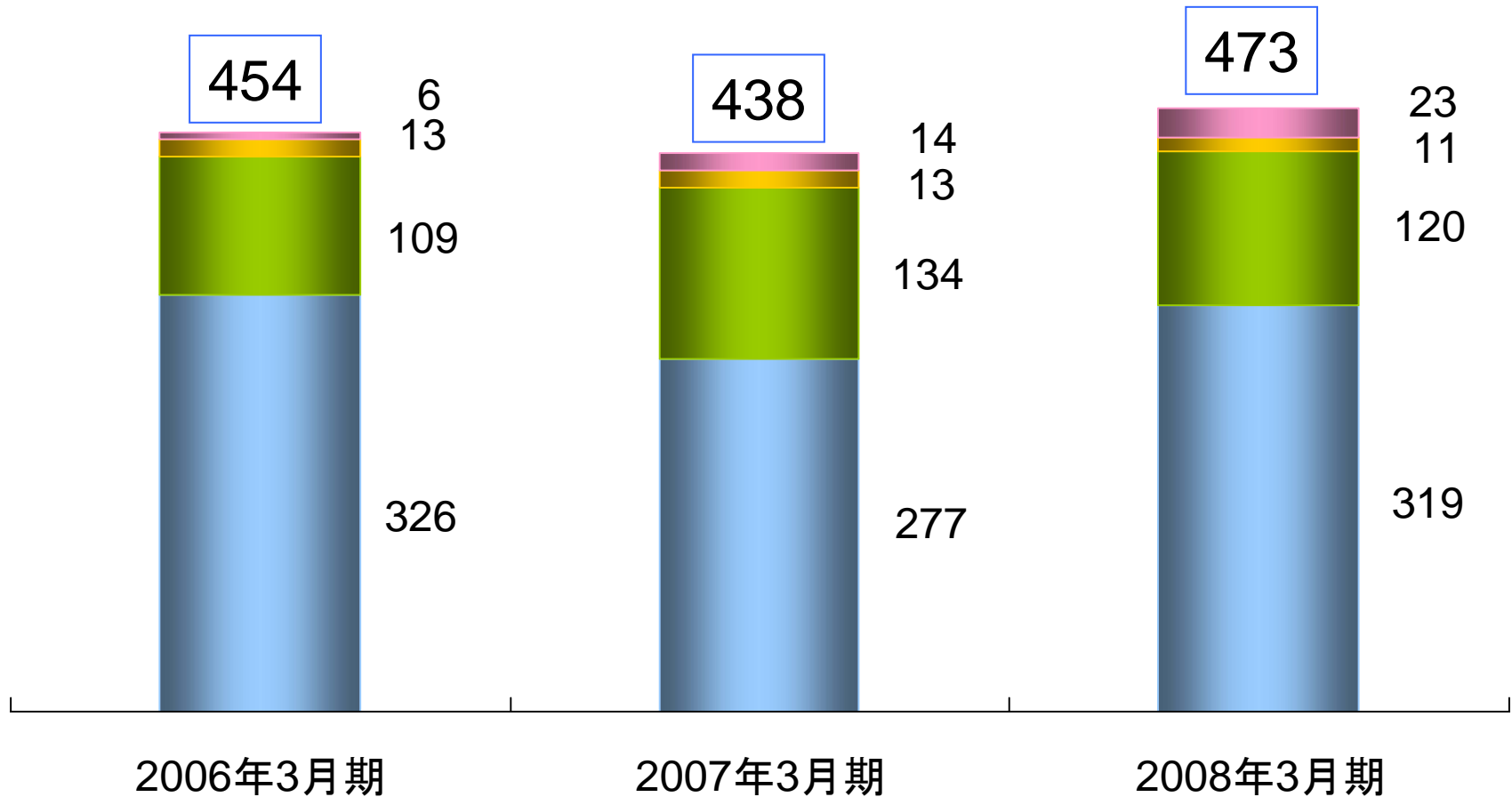
2008年3月期 キャッシュ・フロー



2008年3月期 通期計画 有利子負債

単位：億円

■ 日本 ■ 北米 ■ 欧州 ■ 中国その他



Global30-2007
地域別計画

Global 30-2007 地域別売上高・営業利益計画

■ 連結2009年度目標は売上：2000億円、営業利益：200億円

		FY2006 実績	FY2007 計画		FY2009 計画
売上高	日本	953	974	→	1,035
	北米	670	656		745
	欧州	24	34		45
	中国	4	13		35
	東南アジア	81	93		140
	合計	1,732	1,770		2,000
営業利益	日本	90	96	→	115
	北米	48	51		60
	欧州	▲2	2		4
	中国	▲4	▲2		6
	東南アジア	7	8		15
	合計	139	155		200

地域別営業利益計画の主な増加要因

- 日本(FY2006:90億円→FY2009:115億円 +25億円)
 - コスト革命:年間30億円程度が継続
 - 鋳物工場
 - 市況:FY2006レベルで推移と仮定
 - 伊藤忠との協業(産業機械・鉄道車両)
 - 税制改正反映
- 北米(FY2006:48億円→FY2009:60億円 +12億円)
 - 再編効果刈り取り
 - 伊藤忠との協業(補修品)
 - 補修品ビジネスの着実な展開

地域別営業利益計画の主な増加要因

- 欧州 (FY2006:▲2億円→FY2009:4億円 +6億円)
 - 効率化による黒字化定着と拡販
 - 一過性費用の減少
- 中国 (FY2006:▲4億円→FY2009:6億円 +10億円)
 - 摩擦材ビジネスの拡大
 - 機構ビジネスの原価低減
- 東南アジア (FY2006:7億円→FY2009:15億円 +8億円)
 - インドネシア:安定的に拡大を仮定
 - タイ:現状ビジネスの着実な展開と新規拡販により早期黒字化を目指す。

本資料における、計画は、現時点における事業環境に基づくものであり、今後の事業環境の変化によっては、実際の業績が変動することがございます。